

連合創立40周年。6月に東京で記念式典 世界室内のメダル獲得は9個

写真：日本マスターズ陸上競技連合

年号が平成から令和に変わった2019年の今年、公益社団法人日本マスターズ陸上競技連合が創立40周年となる。日本中高齢者陸上競技連合として発足以来、40年間歩み続けてきた。この間、人間の感情に例えるなら“喜怒哀楽”を乗り越えて、歴史を刻んできたのだ。連合では6月に東京で創立40周年の記念式典を開く。今月号は世界室内マスターズ陸上での日本選手の活躍、本年度5月中旬以降の競技日程などを掲載。

式典は6月13日に 日比谷図書文化館で

1980（昭和55）年に発足した公益社団法人日本マスターズ陸上競技連合は、今年創立40周年を迎える。同連合は創立40周年記念式典を6月13日（木）に東京都千代田区立日比谷図書文化館・日比谷コンベンションで行う。

当日は14時に一般社団法人、健康・福祉総研理事長で元滋賀県知事の國松善次氏による「人生100歳時代…生き方が問われる」をテーマにした基調講演があり、15時15分から記念式典に移る。その後、16時30分から同公園内の日比谷松本楼で記念パーティーを行う。

世界室内マスターズ 田中さん、早狩さんが活躍

3月24日にポーランドで幕を開け、30日（現地時間）に終了した2019世界室内マスターズ陸上競技選手権。大会に参加した日本選手の皆さんが獲得したメダルは金5、銀2、銅2の計9個だった。入賞者はメダリストを含め24。

これらの成績は2年前の2017世界室内マスターズ大邱（テグ）大会の金27、銀26、銅18の71個のメダル狩りと比べると、かなりの差が。理由の

一つは会場だろう。韓国は日本から近く、160人余りが海を渡った。一方、ポーランドは遠隔の地であり、当地へ飛んだのは30人余り。参加者数の違いが原因だろう。

個人の“働き頭”は今回も田中博男さん（青森）だった。今年2月に89歳となった田中さん

は、M85・60m 9秒89、200m33秒90、800m 3分56秒21と3種目を制したほか、400m 1分22秒71とこちらは2位。また、4×200mRのM70クラスに加わり、アンカーを務めて5位となった。

「リレーは70歳代の3人に交じって、80歳代の私が入りましたが、やはりね」と話す田中さんは、前回の大会では60m 9秒77、200m33秒76の二つの室内世界新をマークしたほか、400m 1分22秒91、800m 3分41秒64と4種目に勝ち、4×200mRもM80クラスの4走で他チームを抑え、5冠に輝いた。

今回は年齢が上がったのと「調整不足だった」というが、400mでは今回の方がわずかながらタイムが上がっている。「プラスはこれですか。会場の近い、遠いはあまり気になりませんで



2019世界室内マスターズ陸上競技選手権に参加した日本選手の皆さん

した」の後、「私のタイムが上がった400mですが、1位となったモンゴルの選手はすごかった。名前は聞かなかったけど、バイタリティーがあって、85歳ということでした」と田中さん。

室内大会で身体をほぐした田中さんは、節目の40回大会となる全日本マスターズ陸上に照準を合わせ「頑張ります」と張り切っている。

男子で田中さんに次ぐ成績をあげたのはM35クラスの走幅跳到6m80を跳び、金メダルを手にした後藤厚人さん（大阪）だ。三段跳も14m42で銀メダルを。国際大会で好成績をあげた後藤さん。今後の活躍に期待。

スプリントの60mは前回の大邱大会でM60クラス5位だった新居田哲司さん（愛媛）が、今回M65クラスで力走。予選から8秒25、準決勝8秒11とタイムを上げ、さらに決勝も

8秒06とし、3位に食い込んだ。大邱大会でのM60で8秒12のタイムを上回ったのだから大したものだ。

M60クラスの鈴木久夫さん(神奈川)は、こちらも予選、準決勝を勝ち抜き、8秒13で5位入賞を果たした。200mでも26

秒78と頑張り、この種目も5位と2種目に入賞。なお、準決勝では26秒32で走っている。400mでは59秒31で4位と、最もいい成績を取めた。

M70クラスの山崎雅彦さん(千葉)は、60mに8秒73で6位を決めた後、200mで29秒29の5位と両種目のほか、リレーでも5位に入った。

女子は早狩実紀さん(京都)がW45クラスの800mに2分19秒21で3位に入った後、1500mでは4分38秒27で走り抜き、見事にトップに立った。早狩さんといえば、同大の学生の時、1991年世界選手権東京大会の3000mに出場。その後、2005年に始めた3000mSCで10分02秒86の日本記録を出した。

この後、日本記録を9分33秒93(8年)まで引き上げた。東京大会ほかの世界選手権や、2008年北京五輪の代表になった早狩さんが、マスターズ陸上においても活動。ますますの活動をマスターズ陸上でしてくれれば。

2年前の大邱大会でリレーを含み5種目に入賞した玉田ゆみ子さん(宮崎)は、今回3種目に入賞。W65・60mHと棒高跳に4位、三段跳は7位だった。それにしてもすごいバイタリティーだ。W50・1500mでは旧姓・石原で中学生時代に大活躍した今泉愛子さん(兵庫)が8位、W40・五種競技で高畑志野さん(長野)が7位にそれぞれ入賞した。

2019世界マスターズ室内陸上 日本選手の入賞者

男子					
60m	M85	1位	9秒89	田中博男(青森)	
	M65	3位	8秒06	新居田哲司(愛媛)	
	M60	5位	8秒13	鈴木久夫(神奈川)	
	M70	6位	8秒73	山崎雅彦(千葉)	
200m	M85	1位	33秒90	田中博男(青森)	
	M60	5位	26秒78	鈴木久夫(神奈川)	
	M70	5位	29秒29	山崎雅彦(千葉)	
400m	M85	2位	1分22秒71	田中博男(青森)	
	M60	4位	59秒31	鈴木久夫(神奈川)	
	M70	5位	1分05秒92	山崎雅彦(千葉)	
800m	M85	1位	3分56秒21	田中博男(青森)	
60mH	M45	6位	9秒37	伊與田幸請(高知)	
走幅跳	M35	1位	6m80	後藤厚人(大阪)	
三段跳	M35	2位	14m42	後藤厚人(大阪)	
	M65	8位	8m13	小笠原隆夫(岩手)	

女子					
800m	W45	3位	2分19秒21	早狩実紀(京都)	
1500m	W45	1位	4分38秒27	早狩実紀(京都)	
	W50	8位	5分14秒52	今泉愛子(兵庫)	
60mH	W65	4位	13秒68	玉田ゆみ子(宮崎)	
棒高跳	W65	4位	1m70	玉田ゆみ子(宮崎)	
三段跳	W65	7位	6m98	玉田ゆみ子(宮崎)	
五種競技	W40	7位	2949	高畑志野(長野)	
(60mH 9秒79、走高跳 1m30、砲丸投 7m10、走幅跳 4m63、800m 2分56秒49)					

リレー・男子					
4×200mR	M65	5位	1分59秒08	日本 (新居田、佐々木文夫=岩手、佐藤隆一=東京、吉本和博=大阪)	
4×200mR	M70	5位	2分07秒39	日本 (小川忠治=北海道、山崎、本田 豊=大阪、田中)	

2019年度
主な国内競技会

9月13～16日に全日本マスターズ
都道府県対抗駅伝は11月17日

2019年度の主な国内日程が出そろった。二大イベントのうち、全日本マスターズ陸上競技選手権は第40回の節目を迎え、国際大会として9月13日から4日間の日程で群馬県前橋市の正田醤油スタジアム群馬で行われる。都道府県対抗・全日本マスターズ駅伝は11月17日、第8回全日本マスターズロードレースを兼ねて愛知県地球博記念公園を舞台に開かれる。

第30回全日本マスターズ陸上混成競技選手権大会は10月19、20日に神奈川県小田原市の小田原城山競技場で行われる。今年度は全日本マスターズ陸上跳躍五種、全日本マスターズ陸上投てき五種の両選手権大会は行われない。

各地域マスターズ、都道府県マスターズ陸上競技選手権大会の日程は以下の通り。

全国マスターズ	
9月	
13日～16日	第40回記念国際・全日本マスターズ陸上競技選手権
10月	
19日・20日	第30回全日本マスターズ混成競技選手権
11月	
17日	第32回都道府県対抗・全日本マスターズ駅伝競争兼第8回全日本マスターズロードレース
地域マスターズ	
6月	
16日	第18回東海兼第24回三重マスターズ陸上競技選手権大会
30日	第35回近畿マスターズ陸上競技選手権大会
30日	第34回鳥取マスターズ兼第35回全山陰陸上競技選手権大会
7月	
13日	第28回関東マスターズ陸上競技選手権大会
28日	第36回東北マスターズ陸上競技選手権大会
8月	
3・4日	第38回中国マスターズ陸上競技選手権大会
4日	第34回北海道マスターズ陸上競技選手権大会
9月	
1日	第37回四国マスターズ陸上競技選手権大会
1日	第36回九州兼第28回熊本マスターズ陸上競技選手権大会
10月	
13日	第36回北陸マスターズ陸上競技選手権大会

都道府県マスターズ選手権	
5月(19日以降)	
19日	第28回愛知
26日	第37回新潟
6月	
2日	第11回島根/第37回広島
8日	第23回山形/第39回香川/第36回山口
9日	第36回大分/第35回鹿児島/第39回沖縄
16日	第31回宮城/第39回山梨
23日	第37回石川/第31回福井
30日	第37回秋田/第37回佐賀
7月	
14日	第30回記念長野
21日	第32回長崎
28日	第31回埼玉/第36回神奈川/第34回徳島
8月	
3日	第38回千葉
4日	第28回福島/第27回京都
18日	第38回富山
24日	第33回青森/第25回高知
25日	第25回滋賀
9月	
23日	第38回兵庫
29日	第44回愛媛
10月	
6日	第34回宮崎
19日	第37回東京
22日	第35回静岡